

閣  
第一三三  
号

起案

令和二年九月十五日

決定	令和二年九月十六日
上奏	令和二年九月十六日
令和二年九月十六日	令和二年九月十六日

施行	令和二年九月十六日
公布	令和二年九月十六日
令和二年九月十六日	令和二年九月十六日

内閣総理大臣

萩生田

内閣官房長官

五

五

内閣総務官

天西

内閣法制局長官

五

麻生 国務大臣

加藤 国務大臣

河野 国務大臣

竹本 国務大臣

高市 国務大臣

江藤 国務大臣

衛藤 国務大臣

田中 国務大臣

森 国務大臣

梶山 国務大臣

北村 国務大臣

西村 国務大臣

茂木 国務大臣

赤羽 国務大臣

菅 国務大臣

橋本 国務大臣

萩生田 国務大臣

小泉 国務大臣

武田 国務大臣

別紙

内閣総辞職に当たつての内閣総理大臣談話

内閣

右閣議に供します。

内閣総辞職に当たつての内閣総理大臣談話(案)

令和二年九月十六日

本日、安倍内閣は総辞職いたします。

この八年近く、内政、外交の諸課題に全力でチャレンジしてまいりました。残された課題も残念ながら多々ありますが、同時に、様々な課題に挑戦する中で、達成できたこと、実現できたこともあります。

福島復興なくして東北の復興なし。東北の復興なくして日本の再生なし。その思いで、政権発足以来、東日本大震災からの復興に全力で取り組んできました。

経済最優先で、働きたい人が働くことができる社会をつくる。二十年近く続いたデフレに「三本の矢」で挑み、四百万人を超える雇用をつくり出しました。成長の果実を活かし、保育の拡充、教育無償化を実行しました。更には働き方改革、女性活躍、全世代型の社会保障改革。「一億総活躍」の社会に向かって、大きな一歩を踏み出すことができました。

外交・安全保障では、集団的自衛権に係る平和安全法制を制定し、助け合える同盟はかつて

なく強固なものとなりました。普遍的価値を共有する国々と手を携え、積極的平和主義の旗の下、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に取り組みました。地球儀を俯瞰する外交を展開する中で、TPP、EUとのEPA、日米貿易協定が成立し、自由で公正な経済圏を世界へと広げるため主導的な役割を果たしてきました。

全ては、国政選挙のたびに力強い信任を与えてくださり、私たちの背中を押していただいた国民の皆様のおかげであります。改めて心より御礼を申し上げます。大変厳しい時にも、至らない私を、変わることなく応援してくださった全ての皆様に、感謝申し上げます。

どうか、次なる内閣、新総理に対しても、国民の皆様の御理解と御支援を心よりお願いいたします。私も、一議員として、新体制を支えていく。引き続き、日本の未来のため、全力を尽くしたいと考えております。

国民の皆様。八年近くにわたり、本当にありがとうございました。